

中野区のユニバーサルデザインの考え方 ～理念と責務～

すべての人が、自らの意思により、自立して活動し、自己実現できる環境を段階的、継続的に整備していきます。

また、ユニバーサルデザインを推進していくためには、区、区民、事業者が協働することが必要です。

1 基本理念

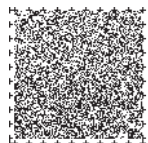
ユニバーサルデザインの推進により、全員参加型社会や地域の活性化を実現するために、ハード、ソフト、ハートという3つの面で取組を進めていくことを基本理念としています。

- 1 支障なく円滑に利用できる都市基盤・施設の整備の推進(ハード)
- 2 平等かつ円滑に利用できる商品・サービスの提供の推進(ソフト)
- 3 一人一人の個性や多様性が理解・尊重され、様々な人が支え合うための理解の促進(ハート)

2 区の責務

区は、率先してユニバーサルデザインを推進するとともに、区民、事業者の調整役として、連携・協働して取り組んでいきます。

- 1 ユニバーサルデザインを推進するための目標(将来像)とそれに向けた施策を定め、総合的かつ計画的に実施します。
- 2 区民、事業者に対し、ユニバーサルデザインについて普及啓発を図ります。
- 3 区民、事業者と協働して、ユニバーサルデザインを推進できるよう相互調整及び連携促進を図ります。



3 区民の責務

ユニバーサルデザインを推進していくうえでは、区民の理解と主体的な関わりが大きな力となります。

- 1 ユニバーサルデザインについて理解を深めるよう努めます。
- 2 様々なユニバーサルデザインの実践について、主体的に参加し、ユニバーサルデザインの推進に努めます。
- 3 ユニバーサルデザインの推進に当たり、区、事業者と協働するよう努めます。

4 事業者の責務

事業者は、ユニバーサルデザインの推進において、すべての人が支障なく快適な生活を送ることができるようになるうえで、重要な役割を担っています。

- 1 施設、商品及びサービスの提供等の自らの事業を通じて、ユニバーサルデザインの推進に努めます。
- 2 従業員がユニバーサルデザインについての理解を深めることができるよう努めます。
- 3 ユニバーサルデザインの推進に当たり、区、区民と協働するよう努めるとともに、推進計画の実施に関して、区に協力するよう努めます。

